

中小企業の経営者・後継者の方へ

知的資産創造支援



こんな企業におすすめ！

- 将来の価値創造ストーリーを明らかにしたい
- 自社の魅力や特徴を分かりやすく伝えたい
- 顧客から選ばれている理由とその源泉を明らかにしたい
- 後継者や次世代を担う人材に自社のことを深く理解してもらいたい

企業価値を生み出す源泉（＝知的資産）に注目する

多くの企業や従業員は技術力や顧客対応力、他社との連携力などの様々な力を強化、向上することで、品質の高い製品やサービスを顧客に提供しています。こうして蓄積された力は目に見えない経営資源として企業価値を生み出す源泉となり、将来につながる真の力として以前にも増して経営に大きな影響を与えています。このような目に見えにくい経営資源の総称を「知的資産」といいます。

知的資産経営のすすめ

知的資産は社内に蓄積された企業価値を生み出す源泉となる資産でありながら、目に見えにくく従来の財務諸表には表れません。またそれ自体を保有するだけでなく、いかに有効に継続的に活用するかが経営の鍵となります。そこで自社の知的資産をどのように維持、管理、強化、改善、組み合わせることで価値創造していく「知的資産経営」が重要となります。すなわち知的資産経営とは、自社の知的資産をしっかりと把握し、それを活用して業績の向上に結びつける経営のことです。

この知的資産経営は、特殊な技術や極めて差別化された強みを持つ企業だけのものではありません。どの企業でも取り組めることができる経営手法です。

なぜなら、知的資産には自社のこだわりや自社にとっては当たり前での取り組みも含まれ、それらはステークホルダーから見ると優れていることが多く、信頼度の向上や自社の発展につなげることができるからです。

まずは、知的資産経営報告書の作成で自社を整理する

知的資産経営に取り組むためには、知的資産を抽出、整理することはもちろん、今後の戦略を踏まえた価値創造のストーリーを明らかにすることが必要です。そして、その価値創造のストーリーを社員やステークホルダーと共有しながら実践していかなければなりません。

そこで知的資産経営報告書の作成を通じて、知的資産経営への理解を深め、知的資産を継続的に管理できる基盤を作り上げます。この過程を通じて、企業経営や運営に関わる様々な課題について、定期的なミーティングを行いながら、課題を整理し、解決策を検討していきます。

客観的な数値（KPI、KGI）を用いた継続的な管理

将来への価値創造のストーリーを実行することによって、どのように事業価値を高めるのか、具体的に実践する取り組みや投資に裏付けられた目標を設定し、継続的な管理に活用します。これを見える化するために、経営戦略を実行した結果指標である KGI を明確にするとともに、経営戦略を実行する過程（プロセス）を数値化した KPI を、KGI を達成するためのマイルストーンとして設定します。

(KGI(Key Goal Indicator)…重要目標達成指標 KPI(Key Process Indicator)…重要業績評価指標)

知的資産経営のステップ



コンサルタント紹介：小野知己(おのともみ)

<http://www.emejp.com>

昭和30年生、神戸大学経済学部卒。サントリー(株)、大手コンサルタント会社指導部、中堅建設会社経営企画室長を経て、平成6年独立。平成13年EMEコンサルタンツ(株)を設立、現職。経営戦略支援を中心に200社を超える支援経験を持つ。平成13年「21世紀への経営提言」最優秀賞を受賞。著書に「卸売業の経営管理フォーマット(共著)」「アーバンプロデュース」、「我が社は、なぜ顧客から選ばれているのか」(かんぼう)。中小企業診断士、一級販売士。イーエムイーコンサルタンツ株式会社代表取締役。

コンサルタント紹介：日高安則(ひだかやすのり)

<http://www.dmp-net.co.jp>

昭和30年生、九州工業大学機械科卒。昭和55年株式会社皆川経営研究所(現(株)ディー・エム・ビー)入社。独自の技法で行うD. M. P. 研修を中心とした社員教育・訓練・コンサルテーションを行う。(財)日本生産性本部認定経営コンサルタント。株式会社ディー・エム・ビー専務取締役。

コンサルタント紹介：林浩史(はやしひろし)

<http://www.valuethink.co.jp>

昭和49年生、京都大学工学部電気工学科卒。西日本旅客鉄(株)、IT関連ベンチャー、試験計測装置製造会社を経て、独立。平成17年はやしコンサルティングを設立。平成21年2月株式会社バリューシンクを設立。著書に「中小企業のための知的資産経営マニュアル」(共著)。中小企業診断士。(財)生涯学習開発財団認定コーチ。DISC認定コンサルタント。株式会社バリューシンク代表取締役。

■お申し込み・お問い合わせ■

100年企業創り合同会社 (大阪府高槻市高槻町 19-2-301) 担当:石田

MAIL info@100jp.co.jp <http://www.100jp.co.jp> TEL 072-681-3600 FAX 072-686-6593

下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み頂くか、Eメールに要記載事項をご記入の上お申し込み下さい

100年企業創り合同会社 宛 (ファックス番号:072-686-6593)

貴社名: _____

責任者ご芳名: _____

電話番号: _____

ファックス番号: _____

E-mail: _____